

山形県の食・観光などの関西圏への売込状況（1枚目）

令和7年11月20日
山形県みらい企画創造部

1 山形県と関西圏とのつながり

北前船を通じた交流

○江戸時代には、本県の米や、染料や化粧品原料として高く評価されていた本県の花、紅花が西廻り航路を通じて北前船で大阪や京都に大量に運搬された。

○その帰りには、塩や砂糖、木綿、お茶などの日用品に加えて、雛人形などの嗜好品が運ばれたほか、舞妓・料亭などの上方の文化もたらされた。特に日本海側の庄内地方には、方言や食文化など、今もなお、関西の影響が色濃く残っている。



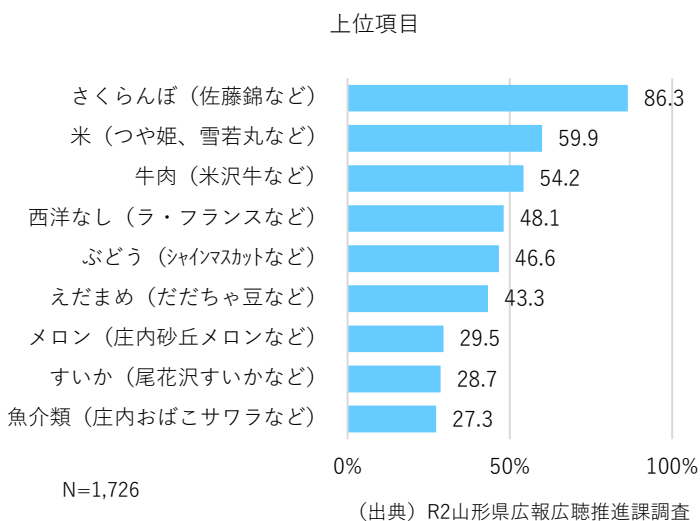
主要農作物収穫量及び全国順位（令和5年）

○米が全国4位、果実・野菜ではさくらんぼ、西洋なしが第1位のほか、ぶどう、りんご、もも、すいか、メロン、えだまめなどが上位にランク

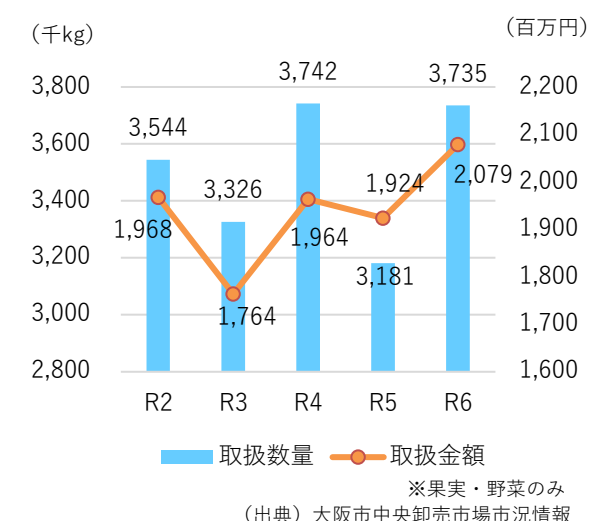
品目名	収穫量(全国順位)	品目名	収穫量(全国順位)	品目名	収穫量(全国順位)
米	359,300 t (4位)	りんご	30,300 t (4位)	すいか	28,600 t (3位)
さくらんぼ	13,000 t (1位)	もも	8,800 t (4位)	メロン	9,790 t (4位)
西洋なし	13,200 t (1位)	すもも	1,720 t (4位)	えだまめ	4,370 t (5位)
ぶどう	13,800 t (4位)	かき	5,260 t (10位)		

（出典）農林水産省「作物統計」

主要な農林水産物の認知度（関西・中京圏）



大阪市中央卸売市場における取扱数量・金額



山形県の取り組み

トップセールス等の実施

○「やまがたフルーツ150周年」に合わせて、大阪市中央卸売市場（大阪市）において、すいか、ぶどう、もも等のセールスプロモーションを実施。（R7.8.2）

○高島屋大阪店（大阪市）において「つや姫」「雪若丸」「ラ・フランス」のトップセールスを実施予定。（R7.11.20）



（R7.8.2 大阪市中央卸売市場）

さくらんぼ貨物の実施

○さくらんぼを鮮度が高い状態でいち早く関西圏に輸送するため、日本航空(株)の山形～伊丹便において、「さくらんぼ貨物」を実施。（R7.6.11～R7.6.25）



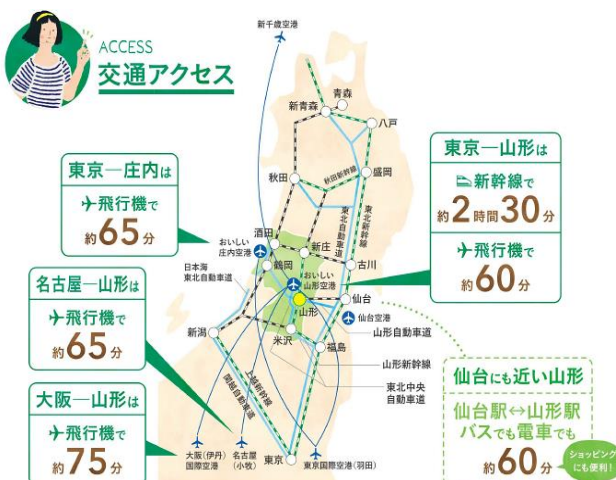
（飛行機への積込作業）

おいしい山形商談会 in 大阪の開催

○関西圏における特産品や加工品、農産物の販路開拓に向けて、関西圏のレストラン・ホテル等の外食産業事業者を対象に商談会を開催。（R7.2.4）

3－① やまがたの「観光」

山形県へのアクセス



山形県の精神文化（日本遺産）

【出羽三山】

(月山山頂)

(羽黒山三神合祭殿)

(湯殿山神社)

(国宝羽黒山五重塔)

○出羽三山は、山形県の中央にそびえる月山、羽黒山、湯殿山の総称。593年、政争から逃れた崇峻天皇の第三皇子、蜂子皇子によって開山されたと伝えられている。

○三山を巡ることは、現在・過去・未来、そして死と再生をたどる「生まれかわりの旅」とされ、「西の伊勢参り（三重県）」に対して、「東の奥参り」と言われるほど、多く人々の信仰を集めた。

【山寺（立石寺）】

(山寺（立石寺）)

○山寺（宝珠山立石寺）は、860年に比叡山延暦寺の第3代座主慈覚大師円仁によって開山されたと伝えられている。

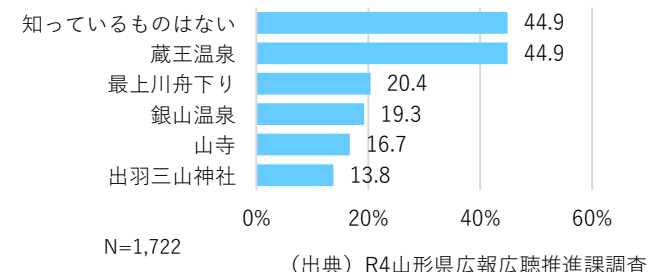
○奇岩怪石からなる山全体が修行と信仰の場となっている。

ナショナル ジオグラフィックにおける本県の選出

○米有力旅行メディア「ナショナル ジオグラフィック」が発表した「Best of the World 2026（2026年に行くべき旅行先25選）」に日本から唯一、山形県が選出

○聖なる山々、静寂に包まれる寺社、フォトジェニックな温泉、四季を通じて各地で開催される伝統的な祭りなどが評価

主要な観光地の認知度（関西・中京圏）



(R6年度入込：775.3千人)

(戸沢村白糸の滝付近)

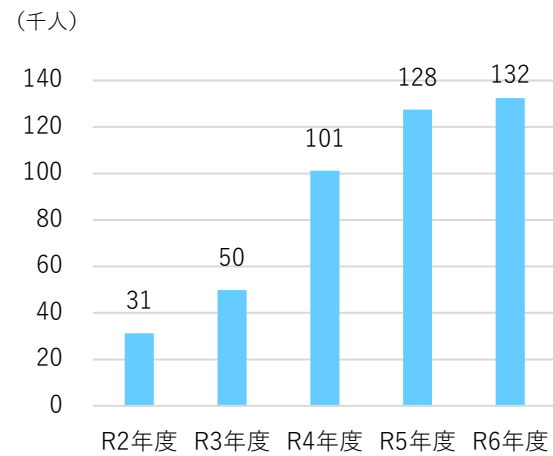
(R6年度入込：306.8千人)

山形県の食・観光などの関西圏への売込状況（2枚目）

令和7年11月20日
山形県みらい企画創造部

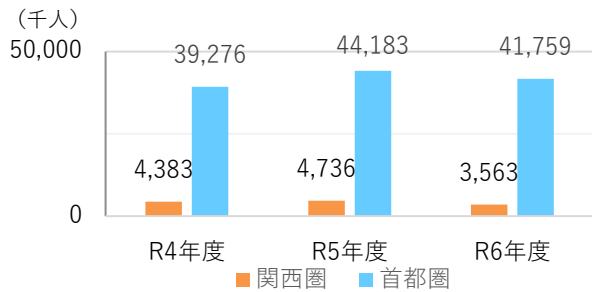
3－② やまがたの「観光」

おいしい山形空港（大阪便）の利用者数



（出典）山形県総合交通政策課調べ

山形県への観光客数と旅行者（関西圏）の主な訪問先



温泉地	観光地	その他
天童温泉	山寺（立石寺）	山形花笠まつり
銀山温泉	蔵王ロープウェイ 蔵王山麓駅	山形県観光物産会館 ぐっと山形
蔵王温泉	七日町御殿堰	道の駅あつみ

※駅や空港などの交通拠点を除く

（出典）東北観光DMP（データ提供元：株式会社Agoop）

山形県の取り組み

「東北絆まつり物産展」への出展

○KITTE大阪にて東北絆まつりプロモーションイベントを開催し、山形県の食や文化などの魅力を発信。（R7.5.24～R7.5.25）

セールスキャラバンの実施

○旅行商品の造成及び本県への誘客を働きかけるため、大阪市内の旅行会社を訪問。（R7.8.20～R7.8.21）

大阪・関西万博会場での催事

○東北絆まつり実行委員会主催の東北絆パレードと連携し、東北6県共同による観光プロモーションを展開。

○VRを活用した観光PRのほか、「やまがた舞子」のステージイベントなどを実施。（R7.6.13～R7.6.15）



（大阪・関西万博ステージイベント）



（大阪・関西万博プロモーションブース）

4 やまがたの「関係人口・移住」

関係人口とは

観光や仕事、特産品の購入など、**山形県と反復的に関わりを持ち続ける県外在住者**のこと。

例：地域づくり活動への参画、二地域居住、観光などの定期的な訪問、ふるさと納税 等

政府の動向等

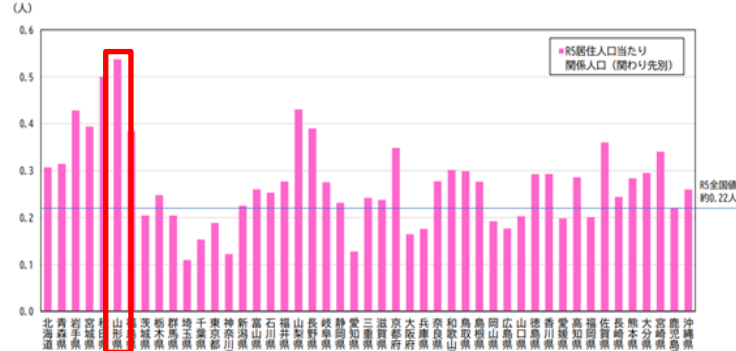
国では、関係人口について**今後10年間で実人数1,000万人、延べ1億人を目指す**こととしており、新たに「ふるさと住民登録制度」を創設する予定。

【ふるさと住民登録制度】

住所地以外の地域に継続的に関わる方々をアプリなどを通じて登録し、地域の担い手確保や地域経済の活性化等につなげる仕組みのこと。登録者は、当該自治体からの情報提供やさまざまな特典などを受けられる。

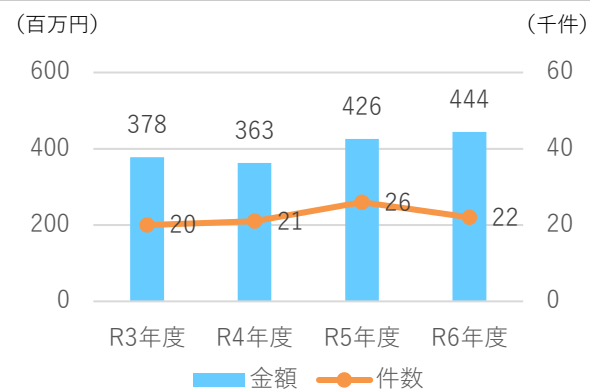
人口1人当たり関係人口ランキング

○居住人口（R2国勢調査人口）当たりの関係人口は、**全国値で約0.22人**
○**山形県は約0.54人**となっており、**全国第1位**



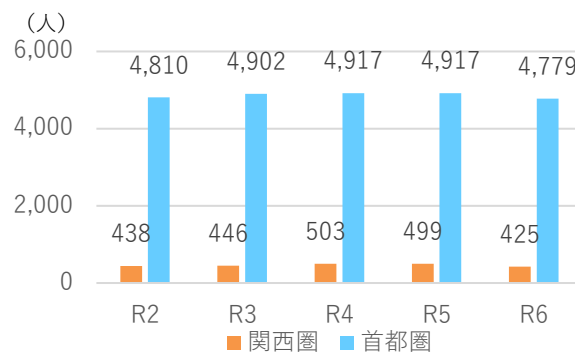
（出展）国土交通省「地域との関わりについてのアンケート（2023年度）」

ふるさと納税の寄附金額・件数（関西圏⇒山形県）



（出典）山形県県産品・貿易振興課調べ

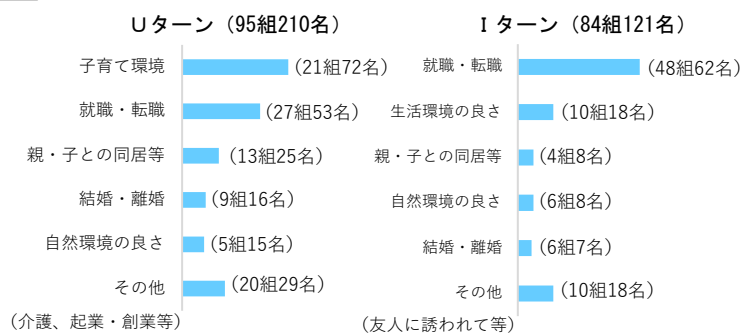
山形県への転入者数



※住民基本台帳に基づく移動で、転勤、進学等含む

（出典）住民基本台帳移動報告（総務省）

移住に関心を持った理由



※山形県への移住者（関西圏以外も含む）

（出典）ふるさと山形移住・定住推進センター調べ

山形県の取り組み

オンラインショップでの特産品のPR

○県オンラインショップ「おいしい山形プラザWEB」を通じて特産品をPR。

○関西圏でのウェブ広告により、同オンラインショップへ誘導。



（おいしい山形プラザWEB）

「おいでや！いなか暮らしフェア2025」への山形県ブース出展

○関西圏からの移住促進を図るため、標記フェアに山形県ブースを出展し、山形への移住をPR。

《フェア概要》

【開催】令和7年7月19日(土)

【会場】OMMビル（大阪市）

【主催】認定NPO法人ふるさと回帰支援センター、大阪ふるさと暮らし情報センター

《移住者への支援》

◆米・味噌・醤油の提供（1年分）

◆家賃の補助

（月額1万円・最大24か月）

※①若者（40歳未満）の2人以上世帯・②子育て世帯（15歳未満の子）には補助を増額（①②ともに20万円／世帯）



（R7.7.19 山形県ブース）